

令和8年度 第6回青森県特別支援学校総合スポーツ大会

「フットソフトボール競技」実施要項

1 日 時 令和8年7月1日（水）
開会式 10:00～10:15
競技開始 10:30～

2 会 場 新青森県総合運動公園 多目的広場 （荒天時中止）

3 監督会議 9:50～

4 競技方法

- (1) 攻守の決定は、監督及び主将立会いのもと、球審のコインのトスによる。
- (2) 3回または、試合開始から30分が経過したイニングまで行うものとする。
※コールドゲームはなしとする。
※出場チーム数によっては、試合時間の変更があり得る。
- (3) 1イニングで、攻守の交代は、3アウトまたは、キッカーが1巡したときとする。
- (4) 投球は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、身体の前に両手でボールを持った状態で完全に停止しなければならない。この姿勢を2秒以上5秒以内持続した後、投球動作を始めなければならない。
- (5) 投手は、投手板に両足を触れてキッカーに正対し、股の下から両手で転がして投球しなければならない。
- (6) 攻撃は、打順表に記載した名前の順序によりキックを行う。
※競技ミーティング後に各チームで打順を決め、1番から番号順にビブスを付ける。
- (7) キッカーは、足でボールをけらなければならない。キッカーの軸足は、本塁を含むキッカー席内になければならない。
- (8) 同点の場合は、タイブレーク（無死・走者2塁）により試合を延長して行う。ただし、延長は1回とする。それでも同点の場合は、主催者が行う抽選方法で勝敗を決定する。なお、監督会議にて実施方法を確認する。

5 競技規則

2025年度版全国障害者スポーツ大会競技規則及び青森県特別支援学校総合スポーツ大会申し合わせ事項による。

(1) エントリー対象

- ・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒とする。
- ・チームは男女混合可とする。
- ・チーム編成は、監督1名、コーチ1名、選手15名以下（出場プレーヤー9名、交代プレーヤー6名以内）とし、ベンチに入ることができる教職員は監督1名、コーチ1名の計2名までとする。ただし、支援が必要な生徒に対して（視覚障害者の伴走者や聴覚障害者への情報伝達のための支援者等）は、支援員として、生徒一人につき教員を一人つけてもよいこととする。この場合、支援員は監督及びコーチ以外の教職員とし、ベンチ選手として数えない。
- ・各校で複数チームの参加を可とする。

(2) 競技場

競技規則に掲載してある競技場より、下記の項目は必須とする。

- ・各塁間の距離は15mとする。
- ・投手板と本塁ベース間の距離は10mとする。
- ・ピッチャーズサークルは投手板の前線の中心から半径1.5mの円とする。

- ・キッカー席は、縦2.5m、横1.5mとする。
- ・ホームベースより5mエリアをバント禁止エリアと設定し、打球がそのエリア内に止まった場合にはファール、2ストライク後の打席でバント禁止エリアに打球が止まった場合にはスリーバント失敗としてアウトにする。 ※枠線内の箇所



(3) 競技者の服装

動きやすい服装に専門部で準備したビブスを着用する。

(4) 試合球

試合球は、サッカーボール（ゴム製4号球）とする。視覚障害の生徒が試合を行う場合は、鈴入りゴムボール【モルテン：G2C2000-SK】を使用する。

(5) 組合せ

- ・原則、トーナメント戦で試合を行う。但し、出場校数によってはリーグ戦で行う場合もある。
- ・組合せは、主催者が代理抽選の上、決定する。

(6) 順位の決定と表彰

- ・トーナメント戦で決勝戦まで実施できなかったときは、得失点差で順位をつける。
- ・順位に応じた賞状を授与する。
- ・決勝戦終了後、閉会式（表彰式）を行う。

6 その他

- (1) 審判員は、青森県軟式野球連盟青森支部に依頼する。
- (2) 試合終了後は速やかにベンチを空けること。前の試合のチームが退席した後であれば、次の試合のチームが競技エリア内へ入ることを認める。
- (3) チーム数や進行によっては、練習時間や試合時間を変更することも有り得る。

【フットソフトボール専門部主管校】

弘前大学教育学部附属特別支援学校

委員長 勘林 秀平

TEL 0172-36-5011

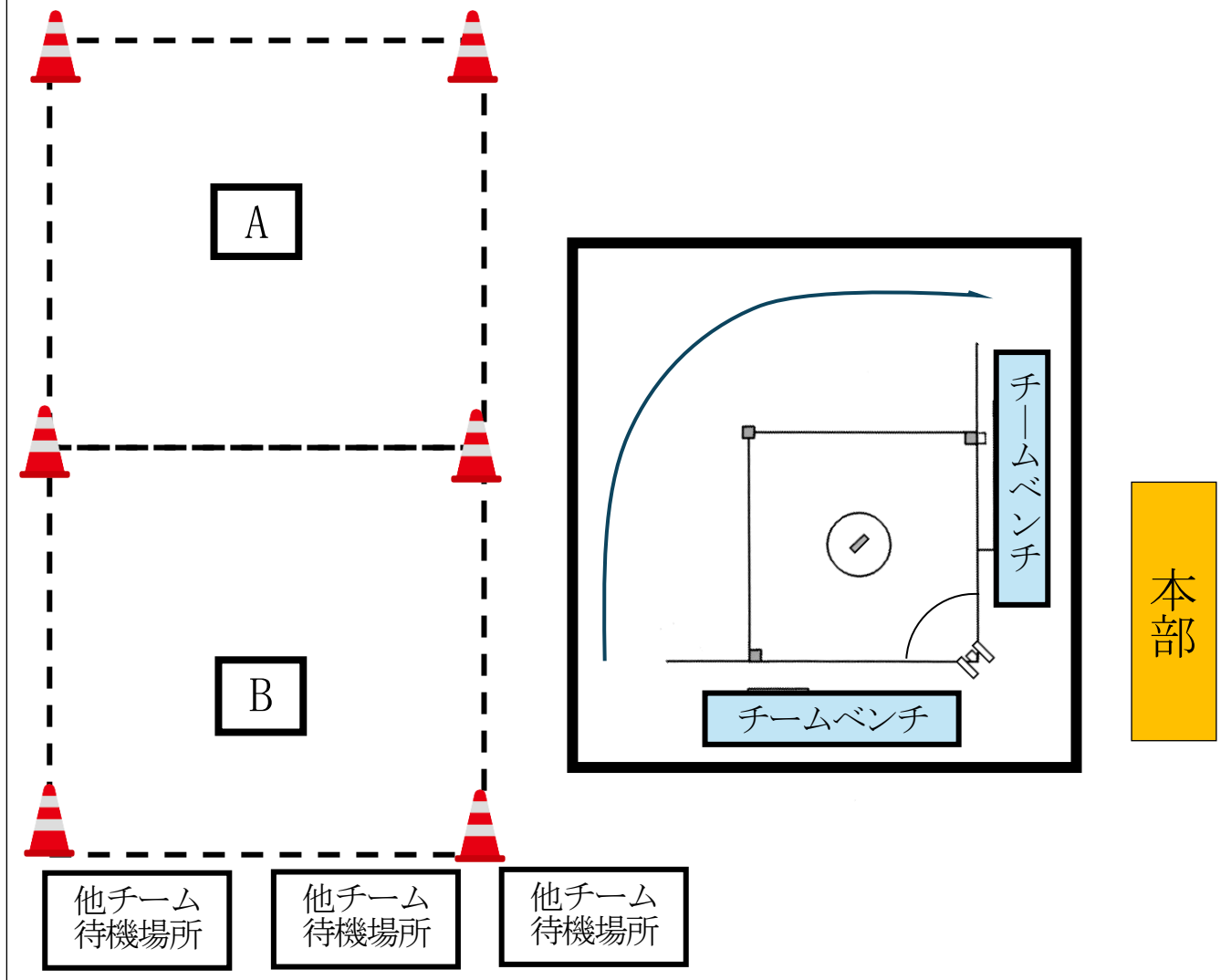
FAX 0172-36-5012

E-Mail 2020ases016@gmail.com

【会場図（多目的の広場）】



【多目的の広場内】



【確認事項】

- ・試合中に練習したい場合は、本部に許可をとることとし、指示があった場所（A、B どちらか）で練習等を行う。
- ・テントは本部の許可をとってから設置をする。